

## 管内地域銀行の平成 30 年 9 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や役務取引等利益が増加したほか、経費の減少等により、29 年 9 月期に比べ 14.8%の増益。
- 中間純利益は、与信関係費用の増加等により、赤字化となった。

(単位：億円)

	28 年 9 月期	29 年 9 月期	30 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	3,162	2,892	2,943	51
資金利益	2,612	2,583	2,658	75
役務取引等利益	270	261	282	21
債券等関係損益	191	46	5	▲ 41
うち、債券等償却(▲)	▲ 0	▲ 1	▲ 0	1
経費(▲)	▲ 2,037	▲ 2,054	▲ 1,982	72
実質業務純益	1,124	837	961	124
与信関係費用(▲)	▲ 88	30	▲ 1,243	▲ 1,273
株式等関係損益	48	135	201	66
うち、株式等償却(▲)	▲ 13	▲ 1	▲ 20	▲ 19
中間純利益	648	712	▲ 392	▲ 1,104

(参考)

	28 年 9 月期	29 年 9 月期	30 年 9 月期
預金等(末残)	41.2 兆円	42.4 兆円	42.4 兆円
貸出金(末残)	30.9 兆円	32.2 兆円	33.0 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 30 年 3 月期に比べ増加。不良債権比率も 0.54P 上昇。

	29 年 9 月期	30 年 3 月期	30 年 9 月期
不良債権額	5,374 億円	5,560 億円	7,440 億円
不良債権比率	1.64%	1.68%	2.22%

### 3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、30 年 3 月期に比べ 0.42P 上昇。
- 国内基準行の自己資本比率については、30 年 3 月期に比べ 0.67P 低下。

(国際統一基準行：2 行)

	30 年 3 月期	30 年 9 月期
総自己資本比率	13.88%	14.30%
Tier1 比率	13.55%	13.98%
普通株式等 Tier1 比率	13.55%	13.98%

(国内基準行：10 行)

	30 年 3 月期	30 年 9 月期
自己資本比率	9.64%	8.97%

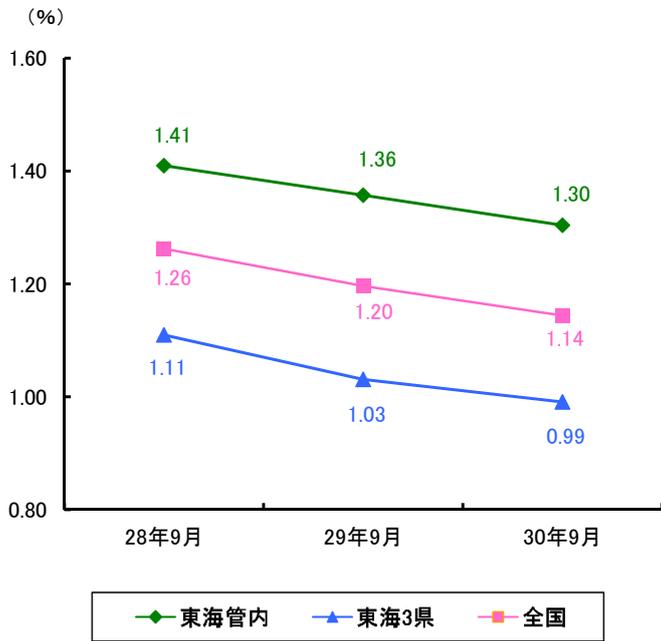
- (注 1) 計数は単体ベース。今後業績修正等により変更の可能性がある。  
 (注 2) 集計対象は管内 12 行(地方銀行 7 行、第二地方銀行 5 行)  
 (注 3) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。  
 (注 4) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

【お問合せ先】

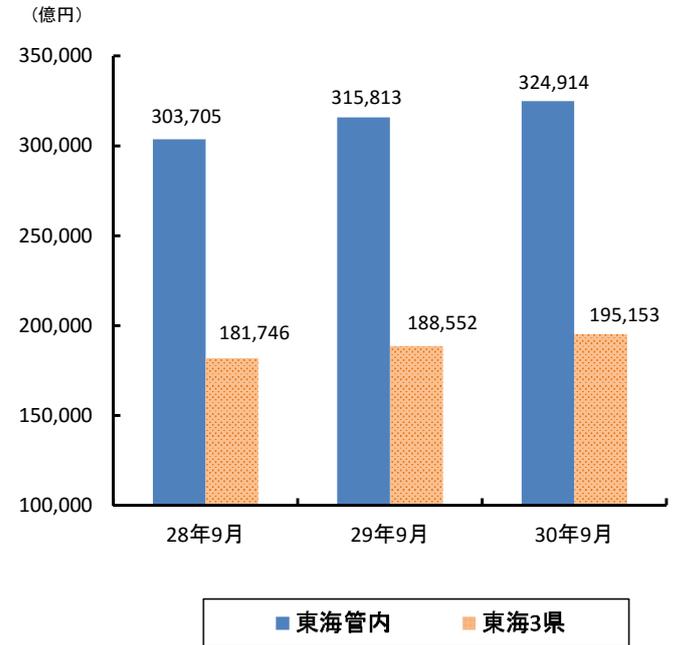
財務省 東海財務局 金融監督第一課  
TEL：(052) 951-2493

# 貸出金利回の状況

貸出金利回の推移

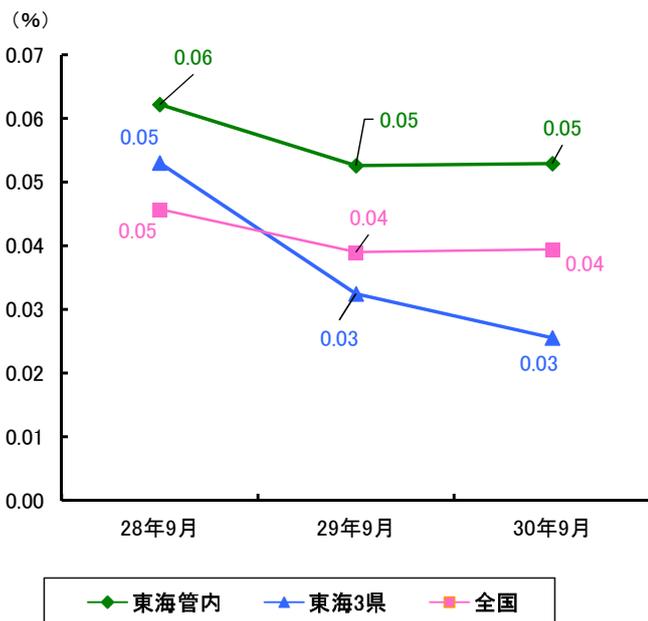


貸出金残高(平残)の推移

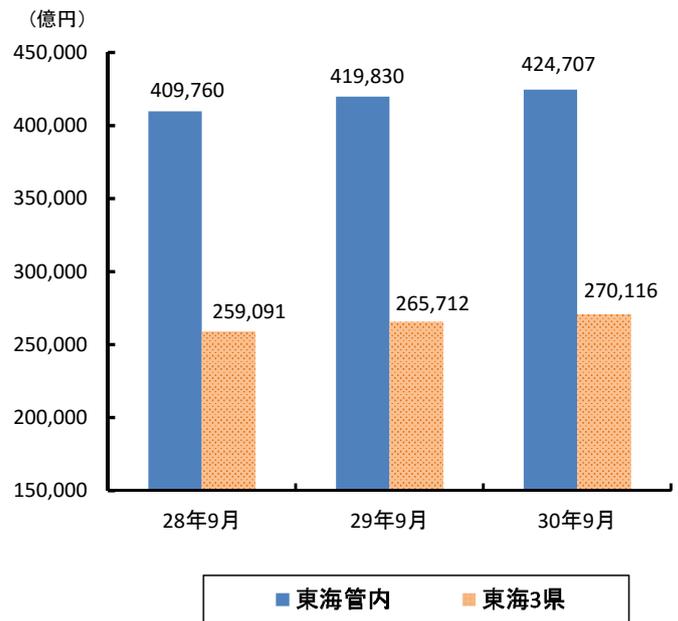


# 預金等利回の状況

預金等利回の推移



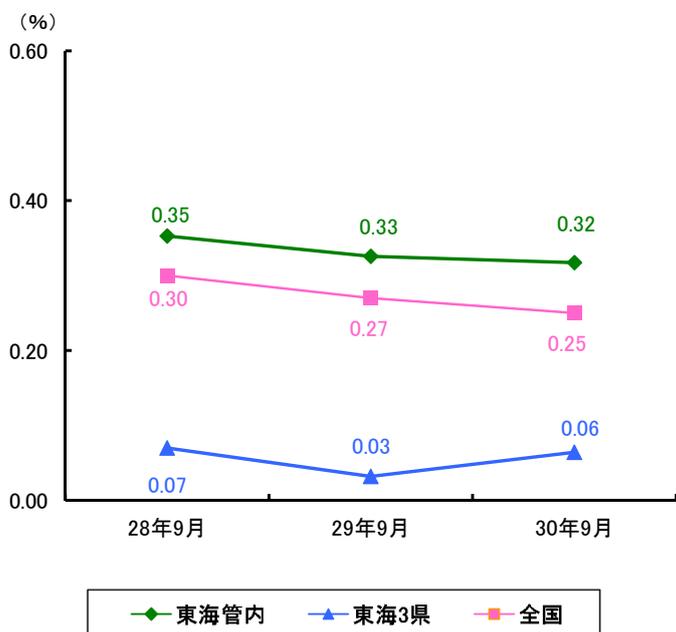
預金等残高(平残)の推移



(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金  
 預金等利回 (%) = (預金利息 + 譲渡性預金利息) ÷ 預金等(平残) × 100

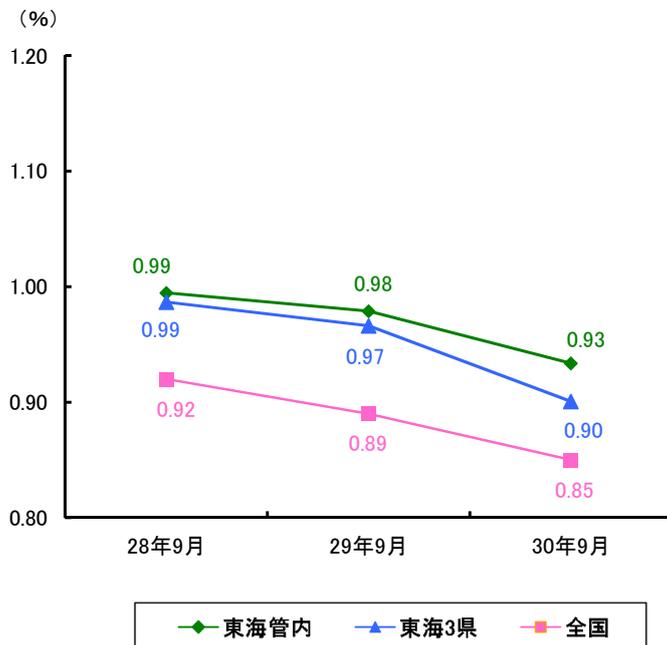
# 預貸金利鞘及び経費率の状況

## 預貸金利鞘の推移



(注) 預貸金利鞘(%) = 貸出金利回(%) - 預金債券等原価(%)  
 預金債券等原価(%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等(平残) × 100

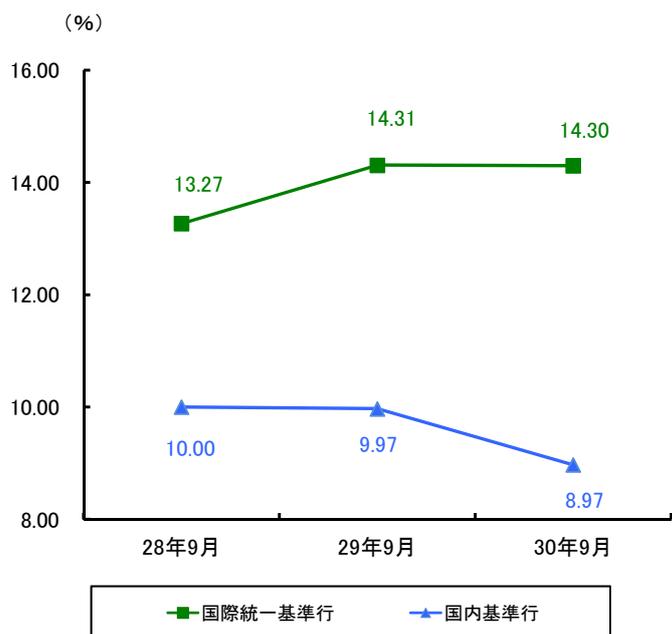
## 経費率の推移



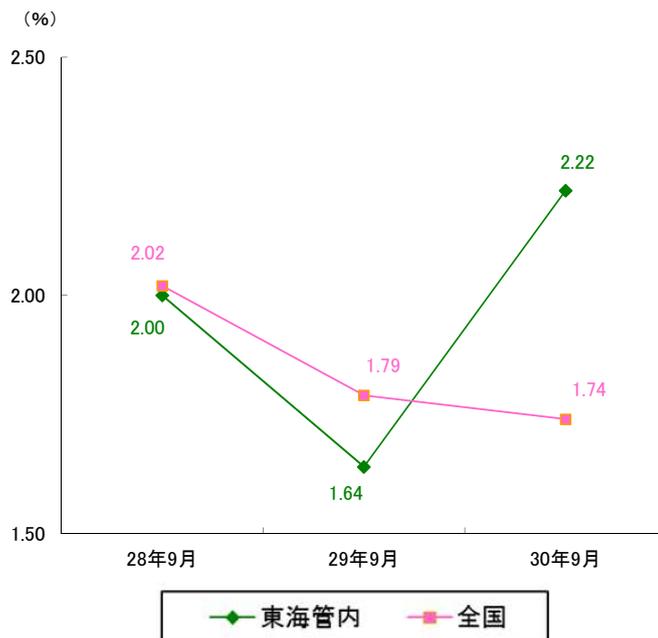
(注) 経費率(%) = 経費 ÷ 預金等(平残) × 100

# 自己資本比率及び不良債権の状況

## 自己資本比率の推移



## 不良債権比率の推移



※ 各計数は、各行の公表資料及び当局調査に基づく計数(単体ベース)を集計したものであるが、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。  
 ※ 「管内」の計数の対象金融機関は、12行(地方銀行7行、第二地方銀行5行)。なお、管内の国際統一基準行は、静岡銀行、名古屋銀行の2行。  
 「全国」の計数の対象金融機関は、105行(地方銀行64行、第二地方銀行40行及び埼玉りそな銀行)。  
 ※ 東海3県とは、愛知県、岐阜県、三重県に本店を置く地方銀行、第二地方銀行。  
 ※ 各計数の比率は、加重平均。端数処理は、東海管内の計数集計においては、率による表示部分は原則として単位未満四捨五入(自己資本比率のみ単位未満切捨)、額による表示部分は、単位未満切捨てで処理。端数整理後の計数により計算している項目もある。